

祝！門脇文庫開設

精華町立図書館では、10月1日に「門脇文庫」を開設しました。そこで今回は、この文庫の紹介をします。

門脇文庫について

門脇文庫は、日本古代史に大きな足跡を残された故門脇禎二先生が所蔵されていた図書や研究資料のコレクションです。

精華町では、門脇先生に『精華町史』編纂の監修を務めていただいたご縁で、先生のご家族から約1万点の図書資料を一括して受贈しました。この貴重な資料を広く活用するため、平成25年10月1日に「門脇文庫」を開設しました。大半は書庫で収蔵することとなりますが、先生の著書や編集・監修された図書は2階閲覧室のコーナーに配架し、閲覧できるようにしています。また先生の直筆ノートや書き込みをされた図書、原稿なども展示しています。併せて先生の経歴などを紹介する映像の放映も行なっています。これらを通して、門脇先生の功績やお人柄を多くの方に知っていただき、先生が残された豊かな知の財産を活用していただけたらと思います。（貸出はしていませんのでご了承下さい。）

門脇禎二先生のプロフィール

【歴史学者・日本古代史専攻】

大正14（1925）年 生まれ
昭和24（1949）年 京都大学文学部卒業
昭和41（1966）年 奈良女子大学教授
昭和50（1975）年 京都府立大学教授
昭和61（1986）年 京都府立大学学長
平成5（1993）年 京都橘女子大学
（現京都橘大学）教授
平成7（1995）年 京都橘女子大学
（現京都橘大学）学長
平成11（1999）年 京都府文化賞（特別功労賞）

【主要著書】

『日本古代共同体の研究』
（東京大学出版会、1960年）
『飛鳥—その古代史と風土』
（日本放送出版協会、1970年）
『蘇我蝦夷・入鹿』
（吉川弘文館、1977年）
『「大化改新」史論』上巻・下巻
（思文閣出版、1991年）

【精華町に関する著書】

『精華町史 本文篇、史料篇Ⅰ・Ⅱ』
（精華町、それぞれ1996、1989、1992）
『けいはんな風土記』（同朋舎、1990）
『せいか歴史物語』（精華町、1997）

門脇文庫開設式 オープニングセレモニー

10月1日(火)に図書館集会室にて門脇文庫開設式を行いました。開設式には門脇先生のご家族をはじめ、先生と研究を共にされていた佐藤宗諄^{そうじゆん}先生ほか多数の方にご出席いただきました。

貴重な資料を寄贈いただいたことに対し、町長からご家族の方に感謝状が贈呈され、2階閲覧室の門脇文庫コーナーにて除幕式を行いました。その後集会室で門脇先生の紹介映像「学徒・門脇禎二先生の思い出」を鑑賞しました。(開館時には紹介映像を流しています。)



門脇文庫開設記念講座「門脇禎二先生と日本古代史」 佐藤宗諄 氏

門脇文庫開設を記念し、文庫開設にご尽力いただいた佐藤宗諄先生(奈良女子大学・長浜バイオ大学 名誉教授)による記念講座を、11月7日(木)に開催しました。

門脇先生の著書から15冊ほどを紹介しながら、先生の業績と思い出を丁寧に解説され、66名の参加者は、熱心に聴き入っておられました。

「門脇先生のお仕事への姿勢、お人柄が大変よく分かった」「お二人の交流に感銘した」と大変好評で、この講演で、「大化改新」否定論に興味を持たれた方もいらっしゃいました。



当日のレジュメを希望される方は、お声がけ下さい(^_^)

～ 国立国会図書館関西館の出張ブース ～

この講座は、国立国会図書館関西館の後援を受けました。当日は、関西館の職員による「国立国会図書館のガイダンスブース」が設置され、門脇先生の博士学位論文「大化改新」論:その前史の研究」の特別展示がありました。

また、参加者だけでなく他の来館者にも、パンフレットの配布や関西館の利用の仕方などを案内してもらいました。

おわりに

寄贈いただいた資料は順次整理をしており、準備ができたものは目録や館内の検索機、ホームページの資料検索画面で確認できます。皆さま、ぜひご利用下さい。